

---

## あかつき証券(株) 2022年3月期 第3四半期 決算説明

---

本資料は、2022年3月期第3四半期決算の業績等に関する情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。本資料は2021年12月末日現在のデータに基づいて作成されております。なお、本資料で使用するデータ及び表現等の欠落・誤謬等につきましてはその責を負いかねますのでご了承ください。

本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがあります。

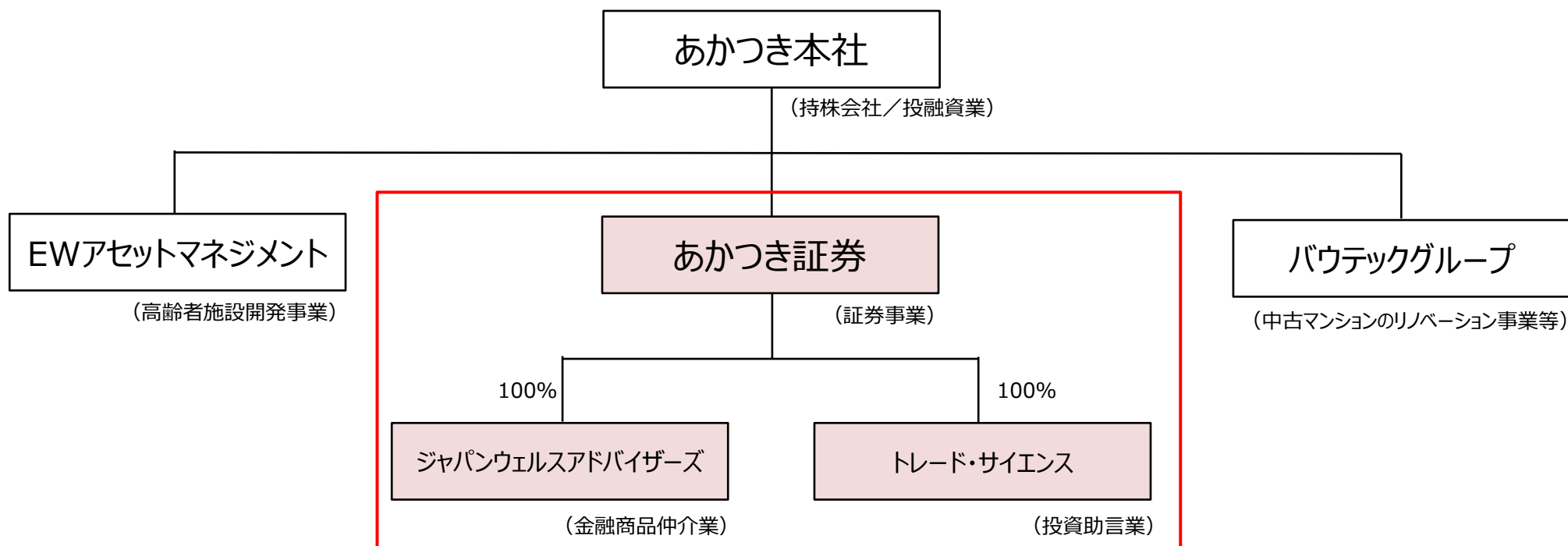
---

## 1. 2022年3月期 第3四半期 決算概要

---

## ◆（参考）連結対象について

### ■ あかつき本社グループ構成図（2021年12月末現在、主要グループ会社のみ記載）



- ✓ 2020年3月に当社100%子会社「ジャパンウェルスアドバイザーズ株式会社」が金融商品仲介業者として営業活動を開始。
- ✓ 2021年2月にグループ会社の「トレード・サイエンス株式会社」を完全子会社化。

## ◆ 2022年3月期 第3四半期決算の概要（連結ベース）

- ✓ 預り資産残高※は**前年同期比36.7%増の3,603億円**となり、この内、IFA部門の預り資産残高は**前年同期比72.8%増の2,035億円**と、**約1.7倍**に増加し、全社、IFA部門ともに過去最高の預り資産残高となった。また、契約仲介業者外務員数も**前年同期比+415名の1,082名**と大幅に増加した。
- ✓ 営業収益は**前年同期比17.9%増の9,749百万円**と、**約1.2倍**の増収となった。戦略的に推進しているIFAビジネスにおいて、契約仲介業者外務員数及び預り資産残高が順調に増加しIFA部門は増収となり、リテール部門の減収をカバーした。
- ✓ 一方で、販売費・一般管理費は**前年同期比28.1%増の9,191百万円**となった。この内、IFAへの支払報酬など収益に連動して増減する変動費が6,846百万円と大半を占め、固定費は2,345百万円と前年同期比348百万円の増加となった。固定費はIFA部門の預り資産残高拡大のため、様々なキャンペーンを積極的に拡充したことや、将来的な業務拡大に備えた人員の拡大などにより増加したものである。
- ✓ 営業利益は**前年同期比49.9%減の534百万円**、投資ファンドの利益等を計上し経常利益は**前年同期比47.9%減の559百万円**、当期純利益は**前年同期比47.2%減の380百万円**となった。

※ 預り資産残高は、当社の預り資産残高と、子会社のジャパンウェルズアドバイザーズ株式会社の提携金融機関における管理資産残高の合計となっております。

---

## 2. 2022年3月期 第3四半期決算（連結）について

---

## ◆ 営業損益の状況

- ✓ 当社100%子会社の金融商品仲介業者であるジャパンウェルスアドバイザーズ株式会社、トレード・サイエンス株式会社を含む連結ベースでは、営業収益9,749百万円（前年同期比+1,478百万円 +17.9%）、営業利益534百万円（同△531百万円 △49.9%）、当期純利益380百万円（同△339百万円 △47.2%）となった。
- ✓ 営業収益は前年同期比で増収となったものの、IFAへの支払い報酬等の収益に連動する費用が増加したことや、業務拡大に伴う戦略的な投資（IFA向けのキャンペーン費用、人員の拡充など）などにより販管費が増加したことにより減益となった。

（単位：百万円）

	2021年 3月期3Q	2022年 3月期3Q	前年同期比 増減率	前年同期比 増減額
営業収益	8,271	9,749	17.9%	1,478
純営業収益	8,239	9,726	18.0%	1,486
販売費・ 一般管理費	7,173	9,191	28.1%	2,018
営業利益	1,066	534	△49.9%	△531
経常利益	1,075	559	△47.9%	△515
特別損益	△2	△3	-	△1
税引前当期純利益	1,072	556	△48.2%	△516
法人税等合計	352	175	△50.2%	△177
当期純利益	720	380	△47.2%	△339

（単位：百万円）

2021年3月期				2022年3月期		
第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期
2,053	2,901	3,316	4,112	3,046	3,474	3,227
2,043	2,891	3,304	4,099	3,038	3,466	3,221
1,830	2,487	2,856	3,622	2,851	3,250	3,089
213	404	448	476	186	215	131
211	408	455	484	201	225	133
-	△2	-	△2	△3	-	-
211	405	455	482	197	225	133
65	131	155	155	54	71	49
145	274	299	327	142	154	83

## ◆受入手数料の内訳

- ✓ 受入手数料は1,885百万円（前年同期比+141百万円 +8.1%）と、僅かに増収となった。
- ✓ 株券委託手数料は、1,270百万円（同+26百万円 +2.1%）とほぼ横ばい。募集・売出し手数料は、国内債販売の増収53百万円および投信信託販売の増収41百万円により、275百万円（同+111百万円 +67.5%）となった。

（単位：百万円）

	2021年 3月期3Q	2022年 3月期3Q	前年同期比 増減率	前年同期比 増減額
受入手数料	1,744	1,885	8.1%	141

### 委託手数料の主な内訳

株券	1,243	1,270	2.1%	26
----	-------	-------	------	----

### 募集・売出し手数料の主な内訳

債券	60	120	100.0%	60
投資信託	104	144	38.8%	40

### その他の受入手数料

信託報酬	63	89	40.6%	25
アドバイザー報酬	17	9	△43.7%	△7

（単位：百万円）

2021年3月期				2022年3月期		
第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期
609	574	561	632	585	594	704

428	378	436	482	377	406	486
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

60	-	-	-	63	36	20
23	29	51	64	44	43	56

19	21	22	25	30	29	29
17	-	-	-	-	-	9

## ◆トレーディング損益の内訳

- ✓ トレーディング損益は、7,816百万円（前年同期比+1,344百万円 +20.8%）と約1.2倍の増収となった。金融商品仲介業の業務拡大により債券等の販売高が+52,998百万円（同+43.3%）と大幅に増加したことで、債券トレーディング損益が7,590百万円（同+1,412百万円 +22.9%）となった。

(単位：百万円)

	2021年 3月期3Q	2022年 3月期3Q	前年同期比 増減率	前年同期比 増減額
株券	294	225	△23.3%	△68
債券・為替等	6,178	7,590	22.9%	1,412
(債券等)	6,139	7,496	22.1%	1,356
(為替等)	38	94	144.0%	55
合計	6,472	7,816	20.8%	1,344

(単位：百万円)

2021年3月期				2022年3月期		
第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期
95	131	67	98	86	61	78
1,331	2,175	2,671	3,366	2,360	2,802	2,427
1,314	2,161	2,663	3,322	2,315	2,781	2,399
17	14	7	44	44	21	28
1,427	2,306	2,738	3,465	2,446	2,863	2,505



## ◆部門別営業収益推移

### 【リテール部門】

✓ 部門収益は1,579百万円(前年同期比△782百万円 △33.1%)と減収となった。内訳として、国内株券委託手数料が42百万円(同△8.3%)の減収、債券トレーディング損益が687百万円(同△61.3%)の減収、外国株券トレーディング損益が96百万円(同△47.0%)の減収であった。

### 【IFA部門】

✓ 金融商品仲介業の業務拡大に伴い、部門収益は8,000百万円(前年同期比+2,299百万円 +40.3%)と大幅増収。特に債券の販売高が前期95,256百万円から当期137,678百万円と42,422百万円増加したことで、債券トレーディング損益が6,930百万円(同+2,100百万円 +42.1%)と大幅増収となった。

(単位：百万円)

	2021年 3月期3Q	2022年 3月期3Q	前年同期比 増減率	前年同期比 増減額
営業収益計	8,271	9,749	17.9%	1,478
リテール	2,361	1,579	△33.1%	△782
IFA	5,700	8,000	40.3%	2,299
その他	208	169	△18.7%	△39

(単位：百万円)

2021年3月期				2022年3月期		
第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期
2,053	2,901	3,316	4,112	3,046	3,474	3,227
693	829	838	683	607	505	465
1,283	2,009	2,407	3,351	2,388	2,912	2,699
76	62	69	77	50	56	62

## ◆販売費・一般管理費

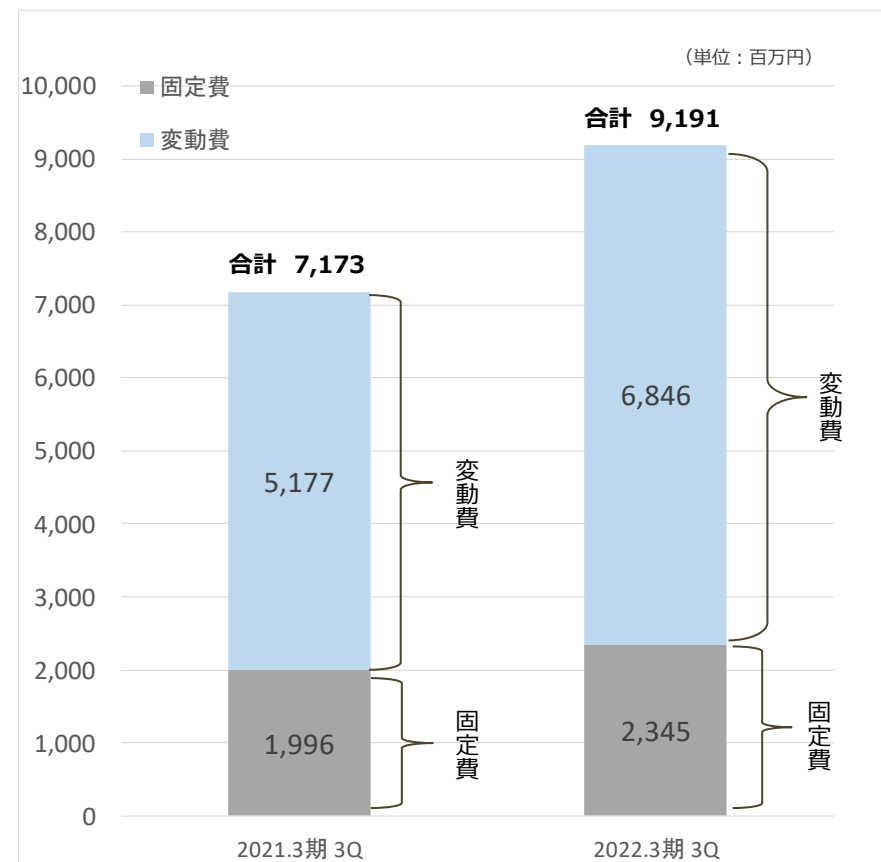
- ✓ 販管費は、9,191百万円（前年同期比+2,018百万円 +28.1%）と増加しているが、IFAへの支払報酬など、収益に連動して増減する変動費が1,669百万円（同+32.2%）増加したことが主な要因である。固定費については、基盤となる預り資産拡大のための販促活動強化や業務拡大に備えた要員確保のための政策的費用の増加により348百万円（同+17.5%）の増加となった。

(単位：百万円)

	2021年 3月期3Q	2022年 3月期3Q	前年同期比 増減率	前年同期比 増減額
取引関係費	4,548	6,230	37.0%	1,682
人件費	1,798	2,030	12.9%	231
不動産関係費	264	296	11.9%	31
事務費	407	466	14.4%	58
減価償却費	51	71	38.3%	19
租税公課	54	46	△15.6%	△8
雑費その他	47	50	5.6%	2
販売費・一般管理費計	7,173	9,191	28.1%	2,018

(単位：百万円)

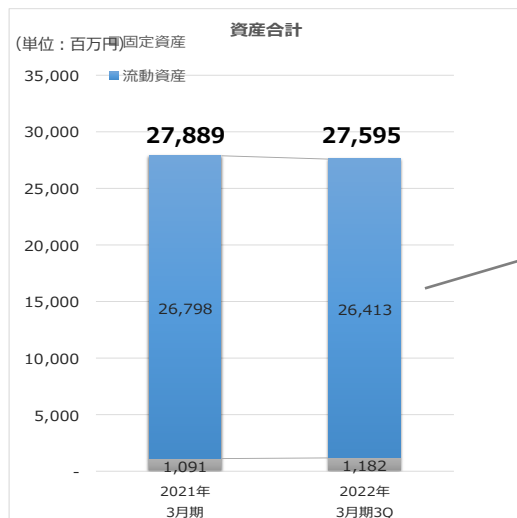
	2021年 3月期3Q	2022年 3月期3Q	前年同期比 増減率	前年同期比 増減額
固定費	1,996	2,345	17.5%	348
変動費	5,177	6,846	32.2%	1,669



※ その他：減価償却費、営業資料費、租税公課等

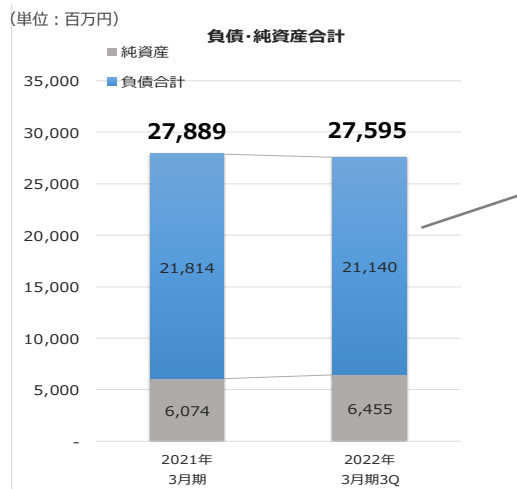
# ◆貸借対照表及び財務の状況

## 貸借対照表



流動資産△3.8億円

- ・現金・預金の減少
- ・信用取引貸付金の増加



流動負債△6.3億円

- ・預り金の増加
- ・借入金の減少

## 財務の状況

	2021年 3月期	2022年 3月期3Q	前期比 増減
自己資本比率 (%)	21.7%	<b>23.4%</b>	1.6%
1株あたり純資産 (円)	153.55円	<b>163.19円</b>	9.63円
自己資本規制比率 (%)	479.2%	<b>475.2%</b>	△4.0%

	2021年 3月期3Q	2022年 3月期3Q	前年同期比 増減
1株あたり純利益 (円)	18.23円	<b>9.63円</b>	△ 8.60円

---

### 3. 業績の推移について

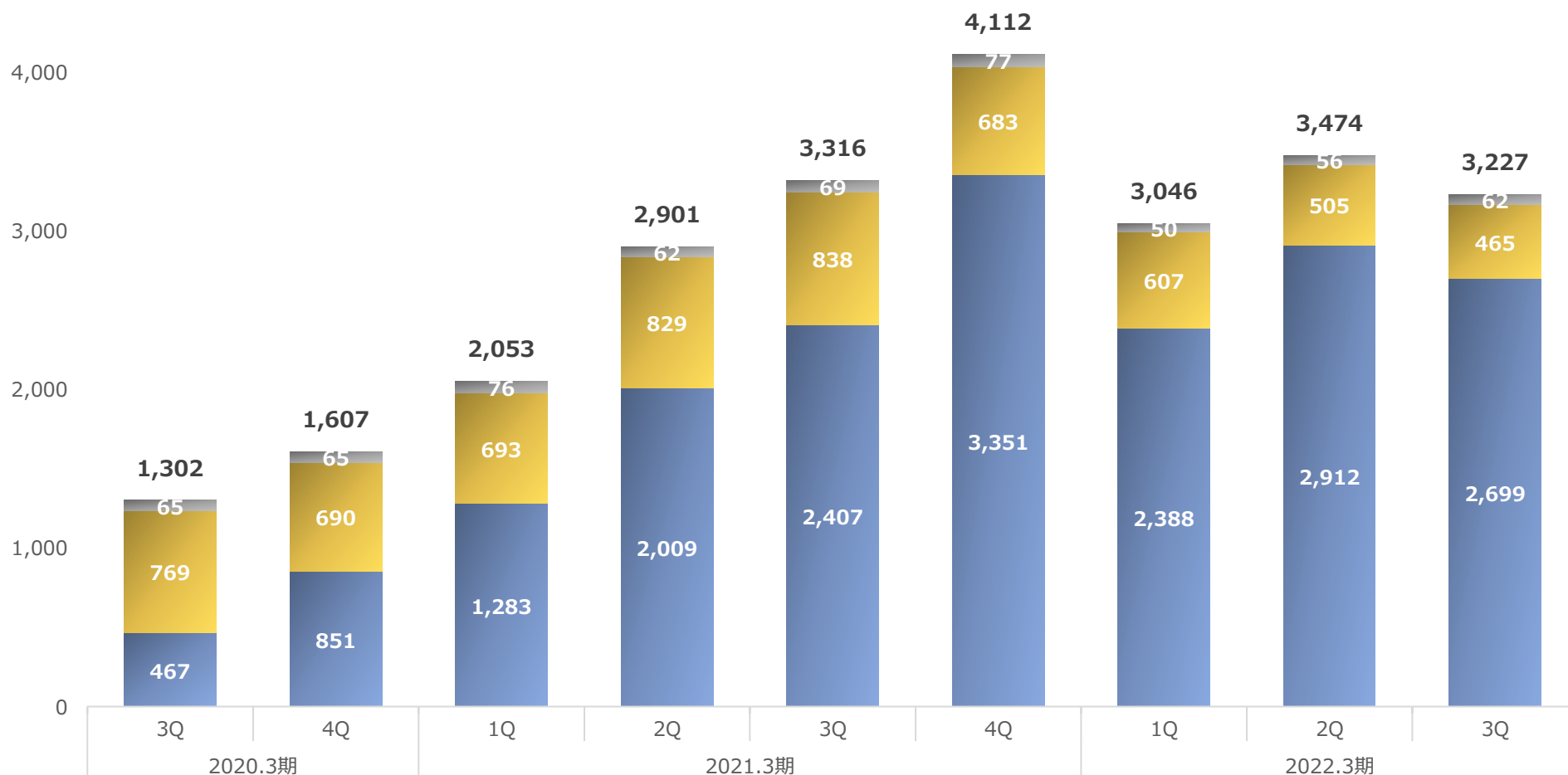
---

## ◆ 営業収益の推移（部門別）

- ✓ 当第3四半期における当社の営業収益は3,227百万円となり、前四半期に比べ減益となった。株券の委託販売手数料80百万円および投資信託の募集・売出し手数料の13百万円増加により受入手数料で110百万円増加したものの、債券販売高の減少に伴うトレーディング益382百万円の減少が主な要因。

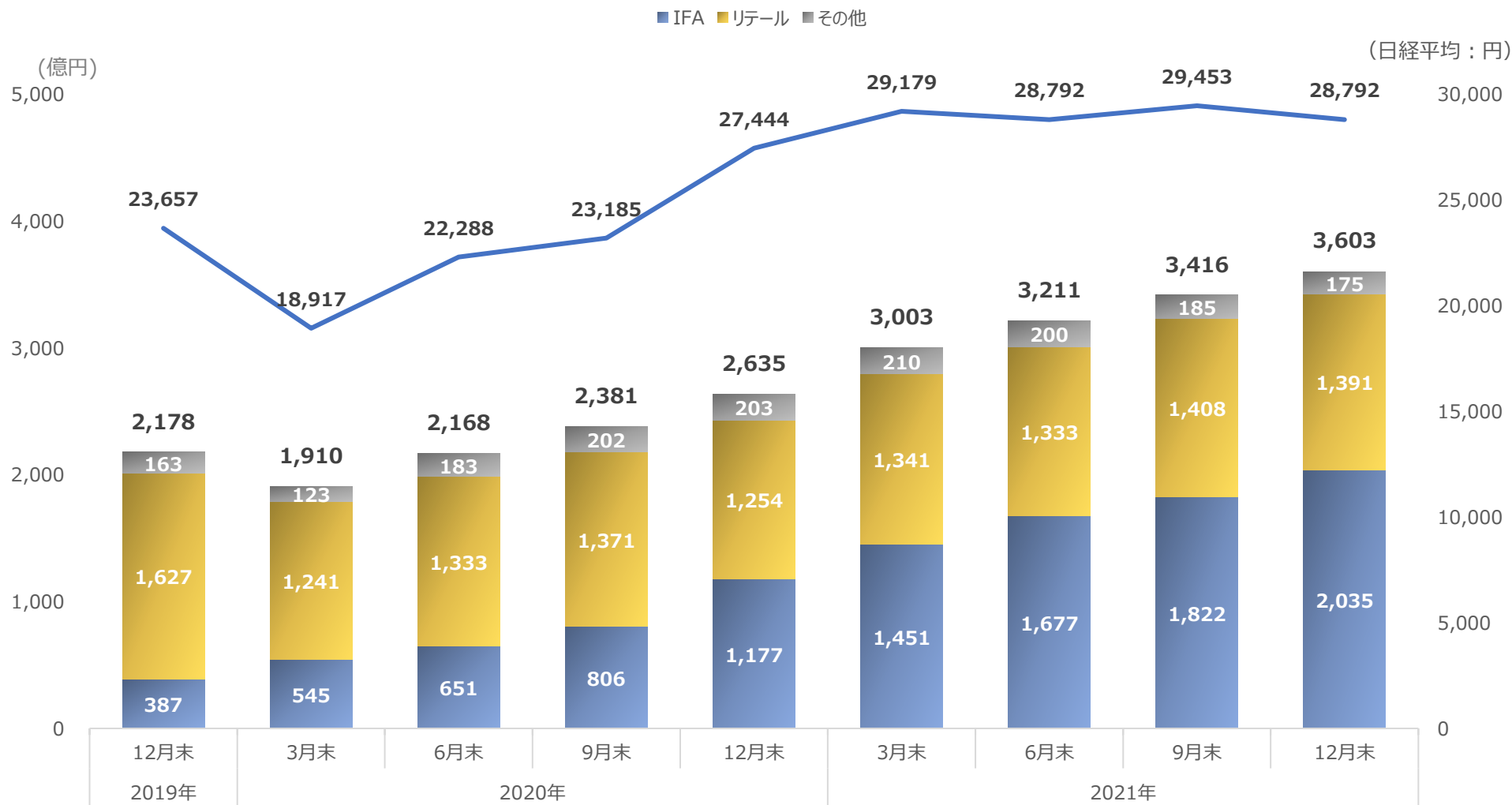
■ IFA ■ リテール ■ その他

(百万円)



## ◆ 預り資産残高の推移（部門別）

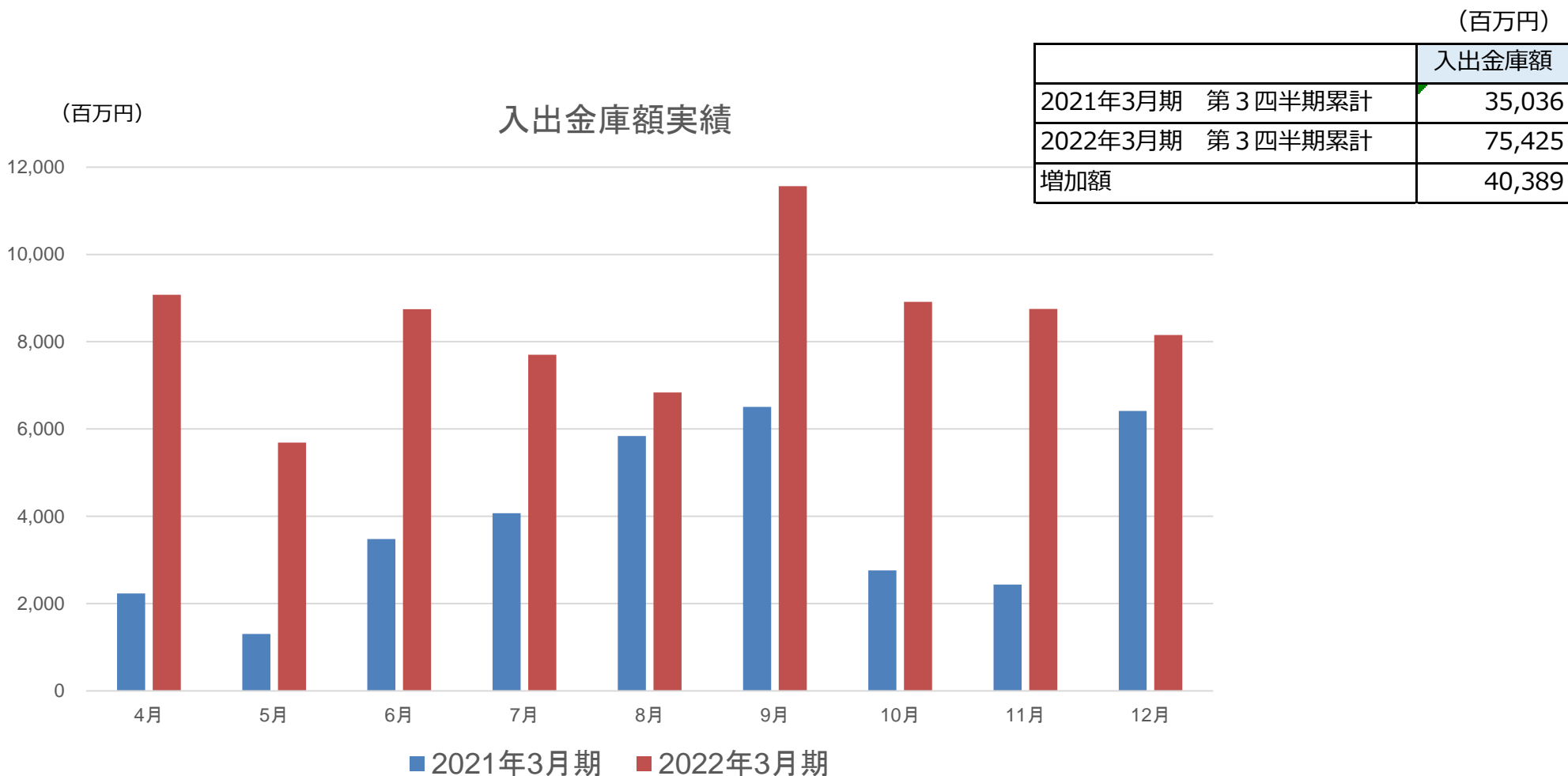
✓ 2021年12月末の当社の預り資産残高※は3,603億円（前期末比600億円増加）。特に、IFA部門は2,035億円となり（前期末比584億円増加）、いずれも過去最高の預り資産残高を更新。



※預り資産残高は、当社の預り資産残高と、子会社のジャパンウェルズアドバイザーズ株式会社の提携金融機関における管理資産残高の合計となっております。

## ◆入出金庫額の増加

✓ 入出金庫額※はIFAビジネスの拡大に伴い第3四半期累計で754億円と、前年同期実績350億円の2倍を超える大幅な増加となっている。



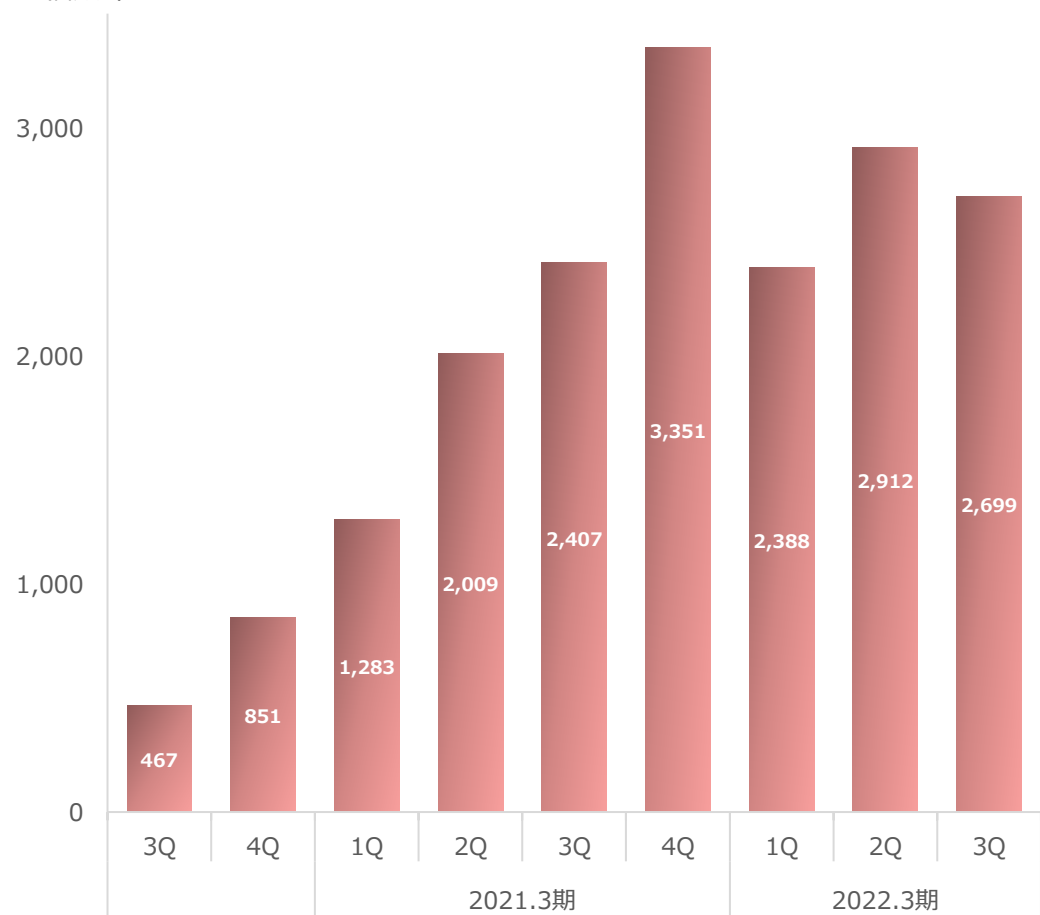
※顧客から当社への入金と入庫の金額から、出金と出庫の金額を差し引いたもの

## ◆金融商品仲介（IFA）ビジネスについて

- ✓ 当第3四半期のIFA部門の営業収益は2,699百万円と、前四半期から減益となったが、契約仲介業者外務員数は1,082名、IFA部門預り資産残高※は2,035億円と順調に拡大している。今年度の外務員数目標1,100名は当第3四半期でほぼ達成。

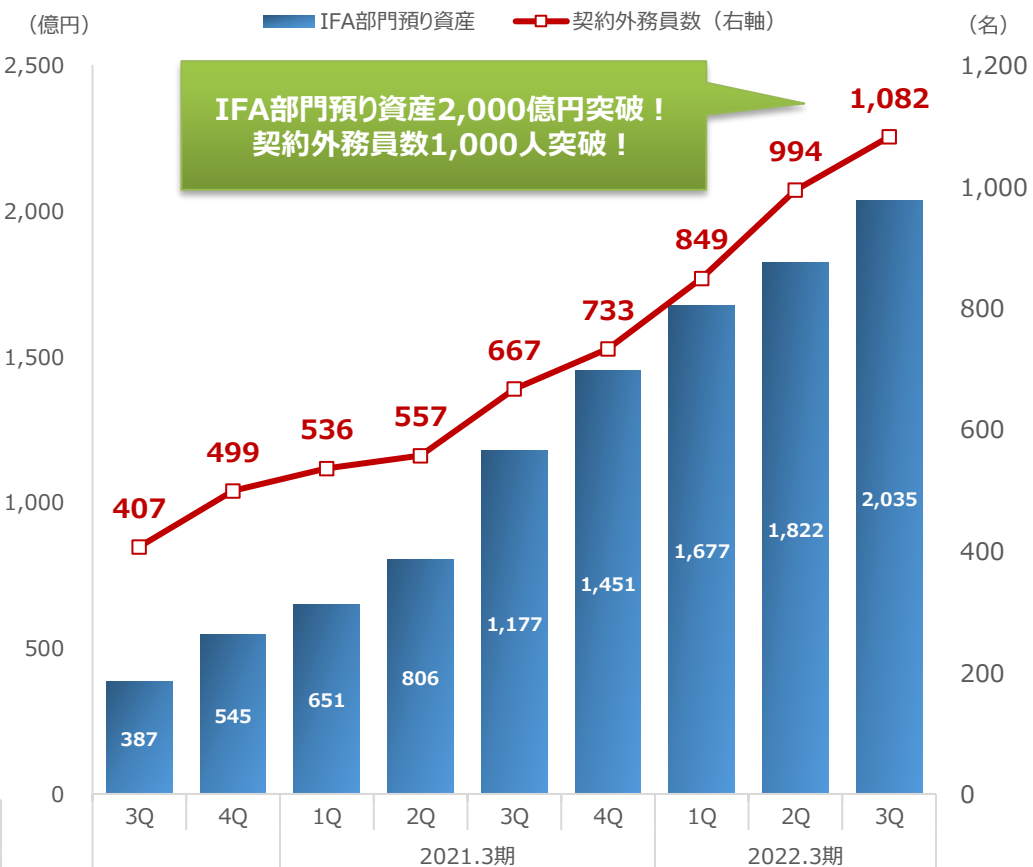
### IFA部門 営業収益推移

(百万円)



### IFA部門 預り資産残高・契約外務員数推移

(億円)

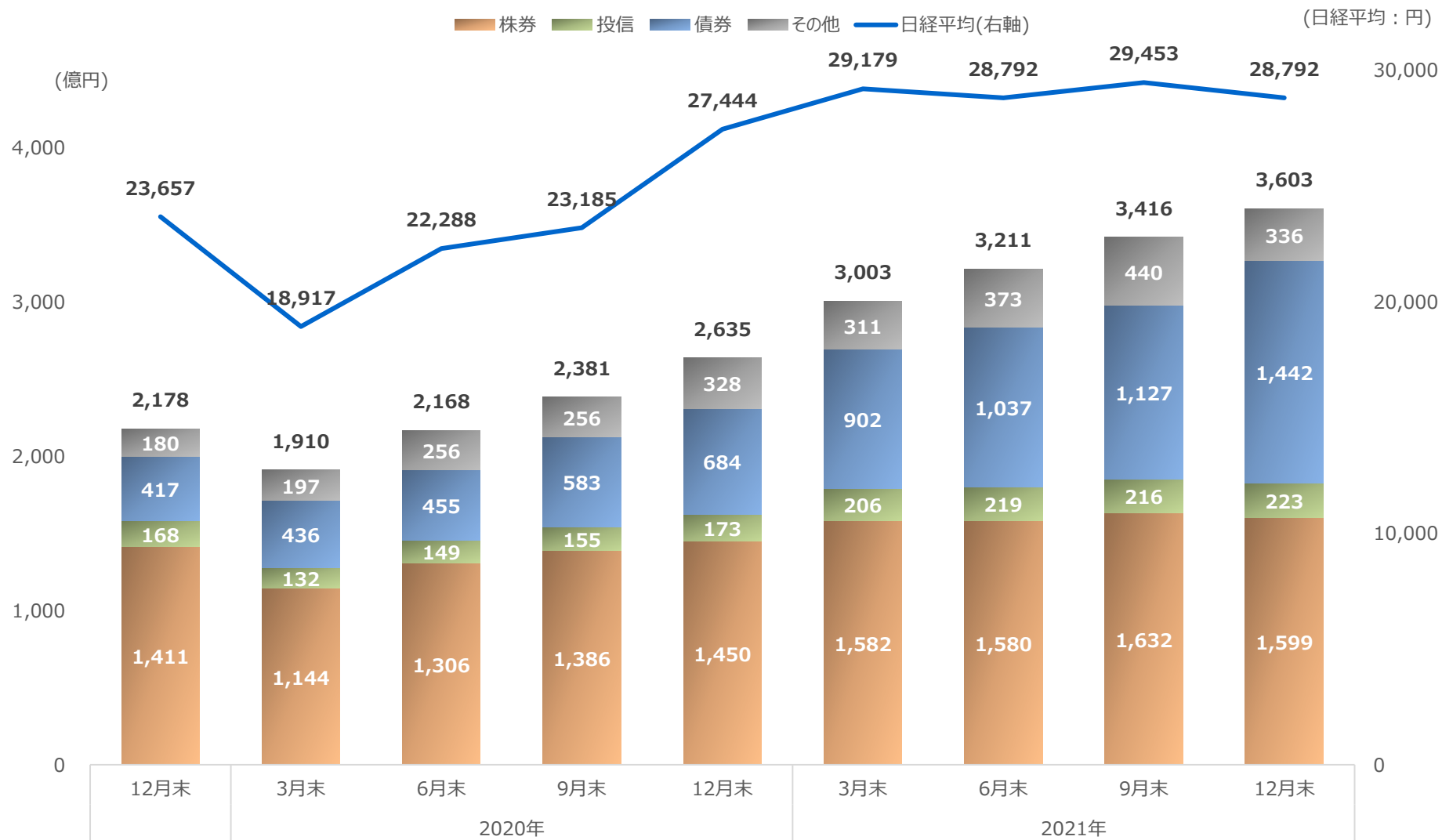


※預り資産残高は、当社の預り資産残高と、子会社のジャパンウェルズアドバイザーズ株式会社の提携金融機関における管理資産残高の合計となっております。



## ◆ 預り資産残高の推移 (商品別)

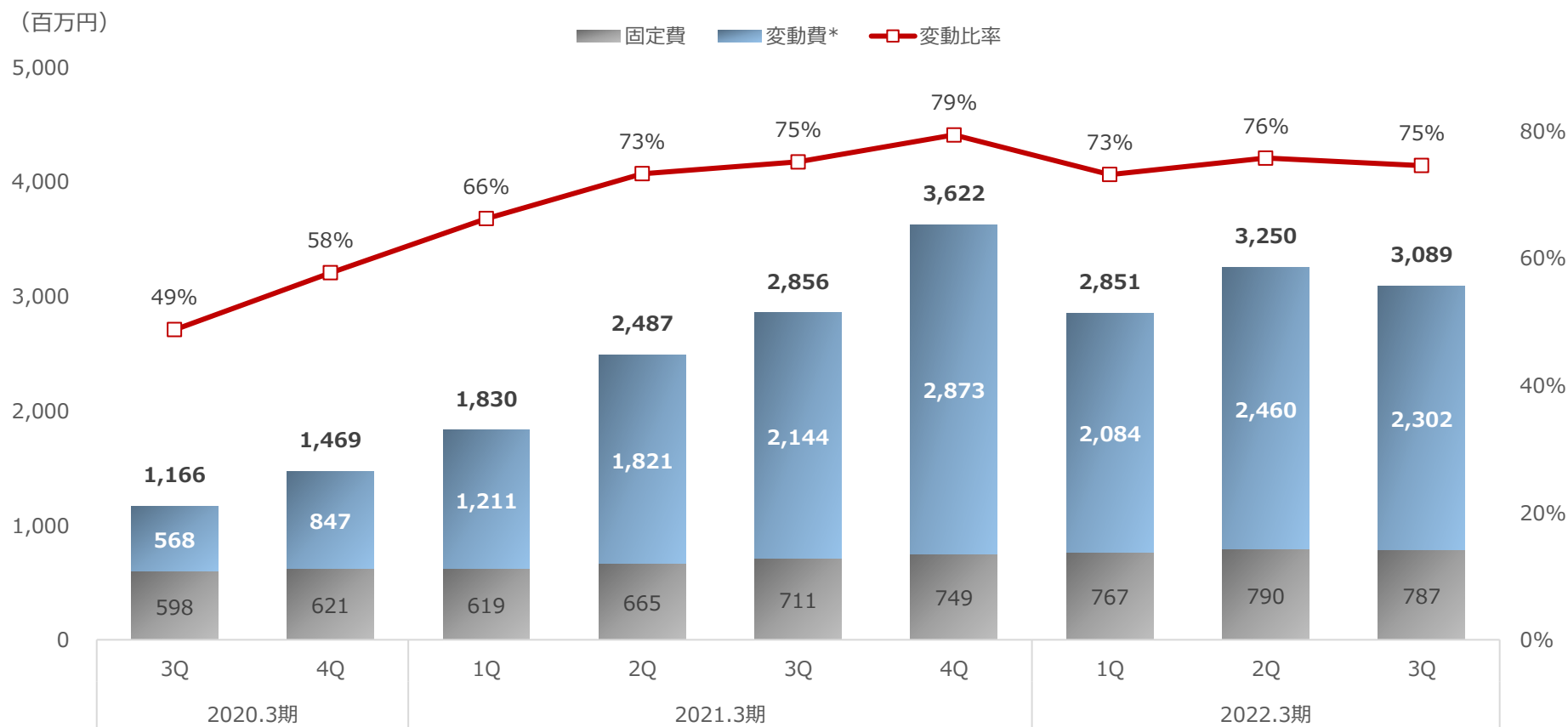
✓ 商品別の預り資産残高※では、IFABビジネスの拡大に伴い債券の比率が増加。



※預り資産残高は、当社の預り資産残高と、子会社のジャパンウェルズアドバイザーズ株式会社の提携金融機関における管理資産残高の合計となっております。

## ◆ 販管費及び変動費率の推移

- ✓ 当第3四半期における当社の販管費は3,089百万円となり、前四半期と比べ、IFAへの支払報酬等の収益に連動する変動費※が減少したものの、販管費に占める変動費率は75%と高水準を維持している。



※変動費 = 人件費（賞与等収益連動分）・仲介業者への支払い報酬・システムコスト（収益連動）

## ◆2022年3月期 トピックス－新商品・サービスリリース

### ➤ 外債担保ローンの紹介業務開始（10月）

日本証券金融と提携し、外国債券の有効活用を目的とした外債担保ローンを共同開発。同社への顧客紹介業務を開始。

### ➤ 家族信託の取扱開始（10月）

高齢化に伴う様々なニーズに応える「シニア・フィナンシャル・サービス」充実の一環として、家族信託の取扱いを開始。家族信託とは、認知症発症等によりご自分で財産管理ができなくなってしまうときに備えて、ご家族にご自分の財産の管理や処分を託す方法のことであり、当社は信託契約に基づいた専用口座の開設でサポートを行う。

### ➤ 「IFAクラウド」新CM公開（1月）

当社が戦略的に推進するIFA（独立系フィナンシャルアドバイザー）向けプラットフォーム提供事業の更なる強化のため、サービス名称を「IFAクラウド」に改め、俳優の高良健吾さんをイメージキャラクターに据えて、新しくCMを製作。当社ホームページ、及びタクシーサインージ広告、YouTube広告等へ配信開始。



## ◆2022年3月期 トピックス－システムリリース

### ➤「IFAポータルサイト」リニューアル（10月）

当社が提携IFA向けに提供するCRMである「IFAポータルサイト」のリニューアルを実施。「カレンダー機能」や「手数料表示機能」、「必要書面検索機能」等に加え、「個別のお知らせ機能」として、個々のIFAにお客様の口座開設完了報告や入金報告などの通知機能を追加。さらにオーダーメイド型債券の自動プライス応答システム「Flash Answer Pro」に続き、オーダーメイド型債券取引に関する書面自動作成システム「Flash Answer Documents」をリリース。

#### ■「IFAポータルサイト」

The image displays two screenshots of the IFA Portal Site. The left screenshot shows the 'ダッシュボード' (Dashboard) page, which includes a sidebar with navigation options like 'ダッシュボード', '当社の取組やサービス', '営業戦略ツール', '商品情報', '必要書面検索', '文書ライブラリ', 'ファイル送受信', and 'コンプライアンス'. The main content area features '個別のお知らせ' (Individual Notifications) and '皆様へのお知らせ' (Notifications to All) sections.

The right screenshot shows the '商品情報' (Product Information) page. It includes a '商品に関するお知らせ' (Product-related notices) section with dates and titles, a '仕組み債' (Structured Debt) section with '新発債' (New Issuance) and '情報系' (Information) sub-sections, and an '投資信託' (Investment Trust) section.

## ◆2022年3月期 トピックス－アライアンス

### ➤ 地域金融機関との業務提携を積極的に推進

地域金融機関との金融商品取引に関する顧客紹介の業務提携を積極的に推進、4月に「足立成和信用金庫（本店：東京都足立区、理事長：土屋武司）」、及び「富士信用金庫（本店：静岡県富士市、理事長：浅見祐司）」、7月に「飯能信用金庫（本店：埼玉県飯能市、理事長：松下寿夫）」、10月に「紀北信用金庫（本店：三重県尾鷲市、理事長：森浦克好）」と提携するなど、今期4行の地域金融機関と提携契約を締結。

### ➤ Finatextグループとの業務提携（11月）

株式会社Finatextホールディングス（本社：東京都千代田区、代表取締役CEO：林良太）の子会社で証券事業を行う株式会社スマートプラス（本社：東京都千代田区、代表取締役：藤江典雄）が提供する、投資一任プラットフォームサービス導入に向けた基本合意契約を締結。本投資一任プラットフォームサービスでは、当社子会社のトレード・サイエンス株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：石塚孝史）がスマートプラス社に対して投資助言を行い、スマートプラス社は投資運用業者としてお客様の資産運用を行うことを予定。

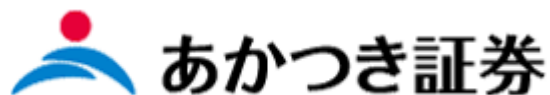
## ◆本資料に関して

---

本資料は、2022年3月期第3四半期決算の業績等に関する情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。

本資料は2021年12月末日現在のデータに基づいて作成されております。なお、本資料で使用するデータ及び表現等の欠落・誤謬等につきましてはその責を負いかねますのでご了承ください。

本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがあります。



本 社：東京都中央区日本橋小舟町8-1  
商 号 等：あかつき証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第67号  
加入協会：日本証券業協会 一般社団法人金融先物取引業協会 一般社団法人日本投資顧問業協会

お問い合わせ先：あかつき証券株式会社 財務経理部  
TEL：03-5641-7800  
URL：<https://akatsuki-sc.com>